



# 年頭のごあいさつ

## 越生町長

# 新井 康之



新年おめでとうございます。お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆さまには町政に関し温かいご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

昨年も新型コロナウイルスの影響が続きました。この間皆さまのご協力によりワクチン接種を着実に進めることができ、改めて感謝申し上げます。引き続きコロナウイルス感染症に関して適切な対応をとってまいります。

そのような中、ウイズコロナに向けた新たな段階への移行を開始し、また物価高騰対策等を進めました。

環境整備に関しては、昨年12月25日に越生町・毛呂山町・ときがわ町・東秩父村の入間郡・比企郡・秩父郡にわたる3町1村を巻き込んだ「山並み連携」ともいべき「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。この宣言は越生町が提唱したものです。今まで郡を異にする接点の少なかつた自治体との連携を組めるメリットは大きく、今後環境のみならず防災・観光・スポーツ・教育の発展に有益なものと考えています。

また「越生町太陽光発電設備の適正な設置等に関する条例」を制定し、昨年4月1日に施行しました。この条例は、町民の皆様への安全を第一に考え、一歩踏み込んだ条例とし、国や県からも評価を受けています。また小杉の太陽光発電現場は、私が就任した時には、斜面が危険な状態でしたが、信頼できる工事会社と交渉し、安全対策工事を完了させました。

全町民の皆さまに対する取り組みとしては、水道料の基本料金を6か月分お支払いいただくかなくても良いようにしました。子育て・教育に関しては、小中学校の給食費を8か月分無料とする補助や保育施設の運営費補助等を行いました。

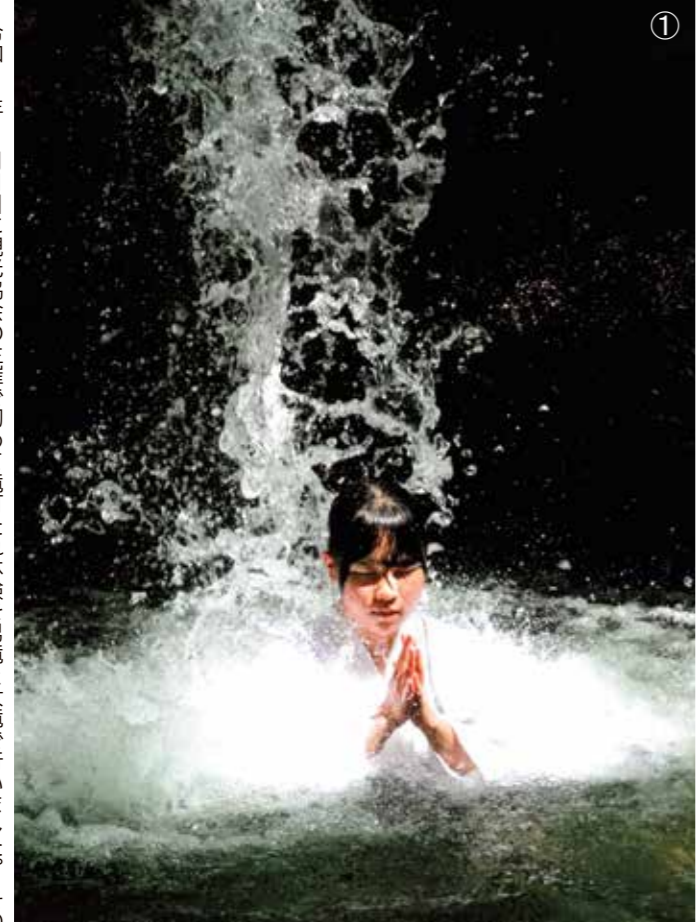
また、マイナンバーカードの普及に力を入れ、全国のコンビニでこのカードを使用できる「国民・印鑑証明書等が取得できる」ようにし、令和6年3月まではこれらの証明書を10円で取得できるようにしました。



## 令和4年越生町観光写真コンクール

一般社団法人越生町観光協会が主催する令和4年越生町観光写真コンクールの表彰式が10月30日に越生町観光案内所で行われました。今年度は92点の応募の中から13点が入賞作品に選ばれました。そのうちの推薦、特選、東武鉄道賞の5点と入選のうち町内受賞者の2点を紹介します。

- 〈敬称略〉
- ①推薦「修行初体験」  
小豆澤 俊光（久喜市）
  - ②特選「ささる光」  
島田 英夫（滑川町）
  - ③特選「桜の絨緞で遊ぶ」  
宮崎 登代子（越生町・越生）
  - ④入選「足元に気を付けてね」  
小澤 利雄（越生町・古池）
  - ⑤入選「夫婦仲良く」  
小澤 利雄（越生町・古池）
  - ⑥東武鉄道賞「春陽麗和」  
小豆澤 俊光（久喜市）
  - ⑦東武鉄道賞「夏空を走る」  
須長 甲子男（鶴ヶ島市）



令和4年7月31日に観光協会の主催で初めて滝打たれ体験を男滝と女滝で行いました。そのときの一瞬を捉めた1枚が推薦に選ばれました。この滝打たれ体験は、今年の7月も実施される予定です。